

ち み も う り よ う ぼ っ こ
～この夏、魑魅魍魎が跋扈する～

企画展「百鬼ぞくぞく-妖怪ワンダーランド-」を開催中！

近年、アニメや漫画の題材となるなど人気を集める「妖怪」ですが、そういった怖いものたちを楽しむ文化は今に始まったことではありません。杉並区立郷土博物館（大宮1-20-8）では、江戸期から明治期にかけて描かれた錦絵や、さまざまな妖怪が深夜に行進する様子を描いた『百鬼夜行絵巻』などを中心に、人間が生み出した多彩な妖怪の世界を紹介しています。

杉並区立郷土博物館で7月17日から始まった企画展「百鬼ぞくぞく-妖怪ワンダーランド-」では、学習院女子大学名誉教授・徳田和夫氏（杉並区在住）の協力を得て、同氏のコレクションから選び抜かれたものを展示しています。中でも目を引く「百鬼夜行絵巻」は、琵琶の頭をしたもの、お釜の頭をしたものなど、ユーモラスにさえ感じる妖怪たちが列をなして、のしのしと練り歩いている様子が描かれています。そのほか、茶道具の付喪神（つくもがみ＝古い道具に宿る神様）たちの行進を描いた「茶器夜行絵巻」や、一勇斎国芳（いちゆうさいくによし）や月岡芳年（つきおかよしとし）などの錦絵師による妖怪退治の図など、江戸期から明治期に作り出された“妖怪ワンダーランド”が郷土博物館いっばいに広がります。

開催期間中は徳田氏による講演会やギャラリートーク、妖怪探しオリエンテーリングも開催します。



企画展「百鬼ぞくぞく-妖怪ワンダーランド-」

【日時】7月17日（土）～9月5日（日）午前9時～午後5時

（会期中休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、8月19日（木）

【会場】杉並区立郷土博物館（大宮1-20-8）

【観覧料】100円（中学生以下、障害者手帳を提示する方およびその付添いの方は無料）、20名以上の団体は一人80円

【問い合わせ先】

杉並区立郷土博物館：03-3317-0841